

# 学生ボランティアの活用実践例

## 名寄小学校

実施学年 5年生 算数科 毎週月曜日5校時  
 期間(回数) 5/7~7/23(10回)  
 実施学年 3・4年生 算数科  
 期間・回数 10/22~2/25(9回)  
 学生人数 3年 2名

## 名寄東小学校

実施学年 3年生 算数科 月曜日の5校時  
 期間(回数) 5~7月(7回)  
 学生人数 3名



## 名寄南小学校

実施学年 4~6年生の希望児童 主に算数科  
 6校時終了後35分程度  
 期間(回数) 前期: 5/7~7/23(9回)  
 後期: 11/5~12/17(7回)  
 学生人数 前期8名  
 後期6名

## 名寄西小学校

実施学年 2・3年生の希望児童 国語科・算数科  
 5校時終了後45分程度  
 期間(回数) 6/25~2/25(14回)  
 実施学年 1年生の希望児童 国語科・算数科  
 4校時終了後45分程度  
 期間(回数) 11/5~2/25(9回)  
 学生人数 2年(6名)、3年(5名)

### 名寄市立名寄西小学校「学生ボランティア活用」の実践例

#### 対象児童

○1年生の希望者(保護者との面談で最終決定)

#### 曜日・時間

○月曜日 13:35~14:20

#### 指導場所

○1年生教室



#### 担当者

○1年生担任、特別支援コーディネーター、学習支援員、学生ボランティア(6名程度)

#### 指導の流れ

- ①始めのあいさつ
  - ②個別プリント1人2~3枚程度用意する。(1年生担任が個々の実態に応じたプリント作成・準備)
  - ③担当者が児童へ取り組む問題を知らせ、児童が各自ぐんぐんカード(自己評価)に今日のめあてを記入する。
  - ③プリント問題に取り組む。(学生ボランティアも含め、1人で1~3名担当)
    - ・担当者は問題ができたら確認をして○をつける。
    - ・わからない問題や間違いなどがあれば、その場で支援をする。
  - ④ぐんぐんカード(自己評価)を記入し、問題プリントと一緒にファイリングする。
  - ⑤担当者が取組の様子から成果や課題などをぐんぐんカードにコメントとして記入する。
  - ⑥終わりのあいさつ
- ※ぐんぐんカードに、保護者から、励ましの言葉を記入してもらう。

#### 成果・課題 (◎:成果 ●:課題)

- ◎支援の必要な子、理解の遅い子などにつき、個別に支援をしていただき大変助かった。
- ◎学生が来曜日の時間帯が固定されていて、分かりやすかった。
- ◎当日、簡単に担任と打合せをした後、授業の中で困り感のある子どもたちを支援した。そのため、子どもたちの学習意欲や理解の向上につながった。
- ◎児童が大学生の支援を受けながら自主的に学習に取り組んでいる。
- 当日、事前に打合せができなかったため、今後は実施できるよう設定時間を考える。